

そば打ち道場

そば打ち体験専門 農村伝承の家

・・・そばを極める・・・

そば職人に打ってもらったそばに舌鼓を打つのは何ともいえない楽しみですが、自分でそばを打つ醍醐味も味わってみませんか？

- 毎月第2、第4日曜日・・・そば打ち道場 お一人¥500
(お一人様からのご予約の場合はお問い合わせください)
- そば打ち道場以外の日・・・そば打ち体験～毎週月曜休館日～(5名様から受け付けます料金は体験人数により異なりますのでお問い合わせください)

そば打ちの技を極めた25名のそば匠が、そばの基本を丁寧に教えてくれます。「百聞は一見に如かず」とことわざにあるように、実際にそばを打つことでそばを食べているときには気づかなかった、そばの魅力を発見できるかもしれません。そば打ち道場 農村伝承の家では、予約制で実施しています。3日前まで予約を受け付けておりますが、土、日、祝日などは混み合いますので、お早目のご予約をお願いいたします。



～ 最上川三難所 そば街道のルーツ ～

最上川の流れてそば屋が多く立ち並ぶ村山市。昔から農家の多いこの地域では、大勢で田植えや収穫などの農作業をした後、労をねぎらう「そば振る舞い」でおなかを満たしていたといえます。以前は、どこの家でもそばを作り、みんな揃ってそばを食べていました。そば街道は、その伝統を受け継ぎ、村山に伝わるそばを多くの人に食べてもらおうと始まりました。村山市では平成6年にそば屋が軒を連ねる15kmの道のりを「最上川三難所そば街道」と名付け、おいしいそばが食べられる里・村山市として祭りやイベントなどを開催し、そばに親んでもらおうと市をあげて取り組んでいます。

板そばの里・村山

村山の材木を利用して作られた木製の器・長板。木の香りがそばの風味をさらに引き立てる素朴な器は、農作業後のそば振る舞いや大家族での食事の時、大勢でそばを囲むようにと使われ始めたとのこと。毎年10月には、『伝承館まつり～日本一の長板そば三十三間堂～』が開催され、約60メートルの長板に用意された手打ちそばを330人が一斉にすすります。1998年には、600人が長さ90.96mの長板に盛った132kgのそばを食べてギネスブックに載りました。また昨年には100mの長板に挑戦して記録更新しました。新たにギネスに申請中です。ぜひ、村山の伝統と活気が薫る長板そばを味わいに、足を運んでみてください。